2020/9/25

基礎プログラミング 2020 年度 実施要項

担当　松島恭治

基礎プログラミングのホームページ:
http://www.laser.ee.kansai-u.ac.jp/lecture/kisopro/
このプリントや，以後配布する資料，最新の予定等が掲示されています．授業で使用する資料は，各自が上記ホームページからダウンロードして下さい．通常，その授業日の昼頃にアップロードします．

(1) **小テスト4回**と**期末テスト**を行う．そのため，授業日には**通常授業日**と**テスト日**がある．通常授業日(小テストが無い日)には**OD2教室**に，またテスト日には**2501教室**に集合すること．

(2) テスト日には，小テスト終了後に OD2 教室へ移動して講習・演習を行う．

(3) 授業ではまず講習があり，その後に演習を行う．演習のために USB メモリを持参するほうが良い．演習で作成したプログラム等をこれに保管することができる(別紙 Q&A 参照)．

(4) 裏面の編成表のとおり，班に分かれて着席し，講習終了後に各自が演習を行う．演習中は担当の補助員(TA)の指導に従うこと．

(5) 演習課題レポートは，**印刷してホッチキスで綴じ**，**担当TAに提出**しなければならない．

(6) 演習課題レポートは，授業時間内に全て提出しなければならない．もしも全課題が提出できない場合は，完成した課題のみを提出し，残りは**次週の授業開始時刻までに**(テスト日にはテスト後に)提出すること．ただし，【時間内提出】とマークされた課題がその時間内に提出できない場合は，**レポート点が減点**される．

(7) 全課題を提出できれば，**担当 TA の許可を得た上**，授業終了前に退席しても良い．

(8) 提出されたレポートは次週の演習中に担当 TA が添削しその時間内に個別に返却する．

(9) **レポートの返却時**に担当 TA が出席を確認する．

	日付	内容
1	9/25	ガイダンス・講習 0
2	10/02	講習 1
3	10/09	講習 2
4	10/16	第 1 回小テスト・講習 3
5	10/23	講習 4
6	10/30	講習 5
7	11/06	第 2 回小テスト・講習 6
8	11/13	講習 7
9	11/20	第 3 回小テスト・講習 8
10	11/27	講習 9
11	12/04	講習 10
12	12/11	第 4 回小テスト・講習 11
13	12/18	講習 12
14	12/25	講習 13
15	1/15	講習 14 (予備日)
16	定期試験期間	期末試験

灰色 の日には 2501 教室に集合

※ 2020/09/25 時点の予定です．

※台風その他の理由により予定が変更になる場合があります．

※講習 14(予備日)の予定は未定です．

※最新の予定を常に**ホームページ**で確認してください．

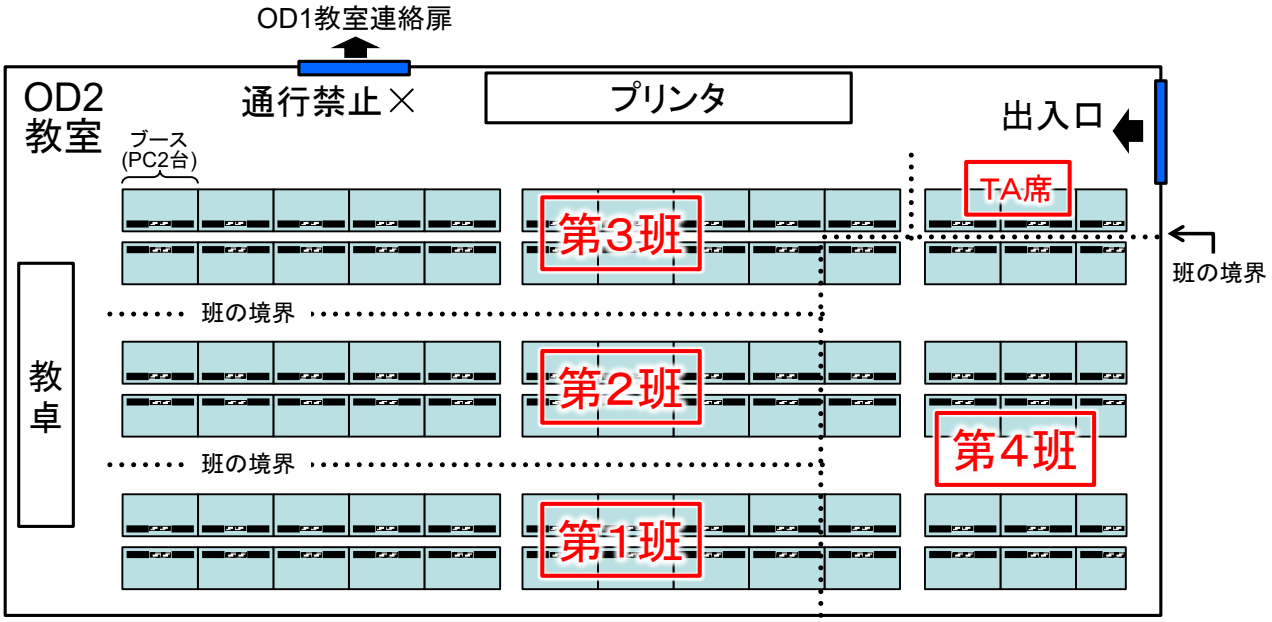
成績評価

成績は，**小テスト** 40%，**期末試験 20%**，出席・課題レポート 40%の割合で評価する．

小テストはクラスで**異なった問題**であるが，**他クラスの会場**に居た場合，**不正行為**を行った場合，処罰の対象になる．

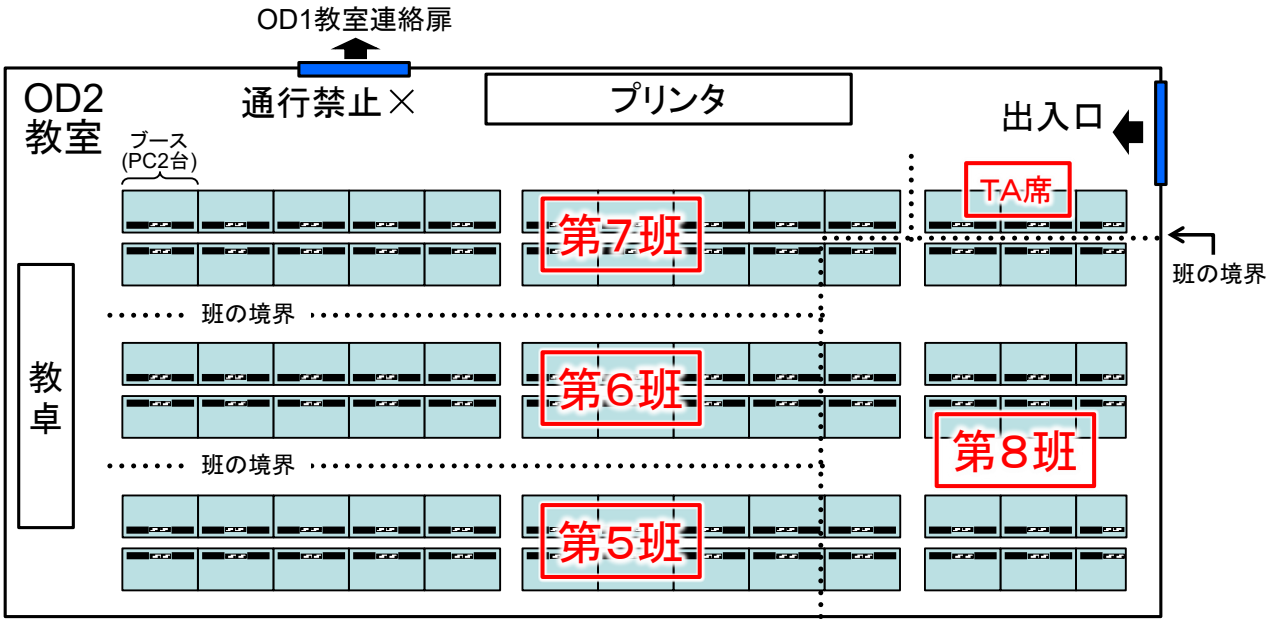
第５限（1クラス）

班	担当ＴＡ	受講生
1	稲村　剛	電 20-0001～0053
2	根田　真吾	電 20-0057～0105
3	山崎　光誠	電 20-0107～0169
4	柳谷　太一	電 20-0171～0227



第３限（２クラス）

班	担当TA	受講生
5	玉置　翼	電 20-0002～0058
6	根田　真吾	電 20-0060～0112
7	山崎　光誠	電 20-0114～0168
8	森川　凌	電 20-0170～0230



学習のアドバイス

Q. どうすれば，コンピュータプログラム(C 言語)をマスターできますか？

A. 次のことが重要です

(1) 一つ一つの事項をおろそかにせず，自分でじっくりと，理解できるまで**考える**こと．

(2) 自分でプログラムを**書いて**，その実行結果を確かめること．他人の書いたプログラムをコピーしても，まったく何もマスターできません．

(3) 必ず復習をすること．特に演習課題が演習時間中に完成しない場合や，良く理解できない場合，その課題を**時間外に自分で解く**こと．

(4) どうしても理解できないところは，友人・TA・教員に**しつこく質問**すること．

Q. 授業の進行が速いです．もっと遅くなりませんか？

A. この授業に続いて，「応用プログラミング演習」や「プログラミングプロジェクト演習」，「コンピュータグラフィックス」など，2年次以降の多くの授業で，C 言語やその派生言語を使いますので，そこで必要な部分まで学習を進めなければなりません．申し訳ありませんが，**時間外学習でカバー**してください．

Q. 授業で教科書はどのように使うのですか？　教科書のかわりの良い参考書はありませんか？

A. この授業では，基本的に配布資料だけで授業を進めますが，やはり標準的な参考書があれば理解が深まります．そこで，

柴田望洋著，「新・明解 C 言語　入門編」(2014 年度から版が変わりました)

を準教科書としています．受講に絶対必要というわけではありませんが，あれば便利です．また，2年生の「応用プログラミング実習」でもこの書籍を準教科書としています．

なお，書店に行けば C 言語の学習書はいくらでもありますが，人によって相性があるようで，これが絶対お奨めとは言えません．自分にあったものを自分で探すのが一番良いでしょう．

Q. 時間外学習をする際，OD 教室で作成したソースプログラムの保存先はどこにすれば良いですか？

A. **USB メモリ**を用いる方法と，**OD 教室のファイルサーバ**を用いる方法の 2 種類があります．

i) USB メモリ

初めから USB メモリに全てを保存するのが簡単でおススメ．ただし，USB メモリの性能があまり低いと処理が遅くなる恐れがある．

ii) OD 教室のファイルサーバ

OD 教室や第 4 ステーションで作業するときの処理は速い．ただし，OD 教室からソースプログラムを持ち出すときには，USB メモリにコピーするか，SSL VPN でネットを通してアクセスする必要がある．　SSL VPN の利用方法は OD 教室ホームページを参照．

Q. 時間外学習するためにはどうすれば良いですか？

A. 下記の方法があります.

i) **自分の Windows パソコンに Visual Studio をインストールする**

マイクロソフトの Web サイトより Visual Studio が無料で入手可能です. これを自分のパソコンにインストールすると, OD 教室と同様に作業を行うことができます. なお, Visual Studio の入手方法については, この授業のホームページに掲載しています.

※ マイクロソフトから入手可能な Visual Studio は, OD 教室のものとはバージョンが異なるため, 設定方法が異なります. また, 後述のようにソースプログラムのみをコピーする必要があります.

※ マック用の Visual Studio もありますが, マック版 Visual Studio では C 言語のプログラミングはできません.

ii) **Windows パソコンを持っていない場合**

下記の教室には「オープン利用」として, 自由にパソコンを使える時間があります. 事前にホームページ等でオープン利用可能時間帯を調べて利用してください.

- **第4学舎情報処理室**
  オープン利用時間が多数あります. ただし, ホームページ情報はありません.
- **OD1 教室**
- **OD2 教室**
- **IT センター**

※ ただし, これらの教室では OD 教室のものと Visual Studio のバージョンが異なる時があります. その場合, 後述のようにソースプログラムのみをコピーする必要があります.

Q. 時間外学習する際に Visual Studio のバージョンが変わる時はどうすれば良いですか？

A. コピー先のバージョンでプロジェクトを作成しておき, コピー元のバージョンで保存したプロジェクトフォルダから「○○○○○.cpp」ファイル(**拡張子が cpp のファイル**)のみをコピーする.

Q. 自分の Windows パソコンでは拡張子が表示されません.

A. 基礎プログラミングホームページに, Windows パソコンで拡張子を表示する方法を掲載しています.

※ OD 教室のパソコンは常に拡張子を表示するように設定されています.